

## 編集後記

今回も多くの皆様からの投稿により、生活科学研究所紀要「生活科学研究第45集」を完成することができました。本号には論文6編が掲載されました。著者の皆様には多大なるご協力を賜り、感謝申し上げます。

また、投稿論文の中から「文教大学水島恵一賞」が授与されることが決まりました。この賞は、若手研究者の今後のさらなる研究の奨励を主たる目的としたものであります。これからも、多様な生活科学の観点から研究成果の投稿が増えることを期待しています。皆様の積極的なご投稿をお待ちしております。

文教大学生活研究所の活動は、人間の生活に関わるさまざまな事象や問題を学術的に研究及び教育することを通じて、人々の生活の向上及び地域社会の進歩発展に貢献しようとするものです。こうした目的に沿い、ロシアによるウクライナ侵攻から約1年が過ぎようとしているタイミングで、今年度の公開講座では、日本財団ボランティアセンターの協力を得ながら、「ウクライナ避難民から考える多文化共生 -The Volunteer for Ukraine-」というテーマで実施しました。終わりの見えない情勢が続いていますが、本講座を通じて改めて世界平和について考える機会となればと存じます。本講座の概要は本誌、並びに生活科学研究所のホームページに掲載されておりますのでご参照ください。

約3年間の新型コロナウイルスとの共生から、私たちはさまざまなことを学びました。一部の閉ざされた生活から、国際交流も含めて人々の交流が活発になる兆しがあります。

こうした明るい今後も生活科学研究所の諸活動がさらに充実したものになるよう取り組んでまいりますので、引き続き皆様のご協力をお願い申し上げます。

生活科学研究所 研修部主任 二宮雅也